<全体方針>

新年度では、未来を切り拓き持続可能な社会の創り手となる人材を育むため、子どもたち一人ひとりの自立と共生を目指す「人づくり石垣プロジェクト」の取組を開始する。また、学校施設長寿命化計画や幼稚園等の統廃合計画に基づく施設整備のほか、就学前教育・保育では、待機児童の解消に向けた保育士確保対策事業などに引き続き取り組むとともに、第3期丸亀市こども未来計画の策定を進める中でさらなる統廃合等についても検討し、すべての子どもたちが安全安心して教育・保育が受けられる環境整備に取り組む。さらに、文化財の保存活用にあたっては、丸亀城の石垣復旧工事の新たなステージとなる積み上げ工事に着手するほか、史跡内の施設に指定管理者制度を導入し城泊事業をスタートする。

<課ごとの指導方針>

(総務課)

学校施設については、長寿命化計画に照らして計画的に整備を進めていく。幼稚園等については、丸亀市こども未来計画に沿った統廃合に伴う整備を行う。放課後留守家庭児童会は、子どもが快適で安全・安心に活動できる場を維持・向上していくため、受入れ環境の改善を図る。

(学校給食センター)

有機農産物を含む地場産物を使用した食育の積極的な推進を図りながら、異物混入事故の徹底防止により、安心安全なおいしい給食の提供に努める。また、第二学校給食センターについては、整備基本計画等に基づき、施設及び設備の整備に向けた取組を進めていく。

(学校教育課)

令和6年度から取り組む「人づくり石垣プロジェクト」では、学ぶ楽しさや伸びる喜びを実感させることにより、児童生徒の学習意欲と自信を醸成するため、英語教育を中心として学力づくりに取り組む。次に、安心できる居場所づくりや人とのつながりを大切にするとともに、活躍できる機会を設けたり、多様な学びを保障したりすることにより、新たな不登校児童生徒を出さないよう不登校対策に取り組む。また、ふるさとへの愛情と誇りを醸成するため、地域と連携し、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、ふるさと丸亀の人・物・事に触れ、本物に出合う活動に取り組む。そして、学校教育を担う教員が本来取り組むべき業務に取り組める環境づくりを整え、教員が子どもに向き合う時間を確保するため、教職員の働き方改革を推進していく。

(幼保運営課)

公立・私立の就学前教育・保育施設においては、待機児童解消のための保育士確保を最重要課題と位置付け、保育士として勤務する意志のある者に対する経済的負担の軽減や保育士の処遇改善及び業務負担軽減等の保育士確保対策事業を実施するとともに、国が示す『こども未来戦略方針』などを受け、保育士等の配置基準の見直し等を検討する。また、老朽化している公立施設については、保育ニーズも照らし合わせながら、統廃合を検討する。そのほか、幼稚園・保育所・認定こども園の職員の合同研修、相互交流などの取組により、職員の資質向上と就学前教育・保育の充実を目指すほか、NPO等との協働のもと、発達障害児等の成長を支え、また、その保

護者を支援する。

(文化財保存活用課)

文化財の適切な保存と次世代への継承及び有効な活用を図るため、史跡丸亀城跡については、崩落した帯曲輪・三の丸石垣の積み上げ工事に着手し、復旧事業を着実に進める。また、それ以外の石垣についても、石垣の崩落原因の一つである雨水対策として排水路整備などを実施し、適切な雨水排水を行う。さらに、長年の課題である内濠の水質については、実現可能な具体的な方法を検討し、水質浄化に繋げる。快天山古墳の調査・整備については、令和4年度の予備調査により日本最古級の石棺に新規のき裂が見られたことから、引き続き調査を行い、適切な保存整備に向けた方法を検討する。また、城泊事業については、宿泊施設となる延寿閣別館とともに天守や大手門を一体的に管理し、史跡内の施設の連携により丸亀城のさらなる魅力向上を目指す。さらに、資料館ではニッカリ青江の公開展示を実施し、文化財を活用した観光振興や地域の活性化の推進に努める。

令和6年度 各課の重点的取組					最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画 (教育大綱)	評価 (予定どおり・遅れている)	現在の状況
総務課	★学校施設の環境整備 【重点プロジェクト】	●長寿命化計画に基づく施設整備の実施	○城東小学校改築工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○城坤小学校長寿命化改修工事の実施(令和5年12月工事着手・令和7年9月完了) ○城南小学校校舎の長寿命化改修工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○飯山北小学校校舎の長寿命化改修に係る設計を実施(令和6年6月	No. 4 (Ⅱ-9)	C	○城東小学校改築工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○城坤小学校長寿命化改修工事の実施(令和5年12月工事着手・令和7年9月完了) ○城南小学校校舎の長寿命化改修工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○飯山北小学校校舎は長寿命化改修から改築に計画を変更。

		<p>●安心して快適に学べる教育環境の確保</p>	<p>着手・令和7年2月完了) ○飯山南小学校改築に係る基本計画・基本設計を実施(令和6年6月着手・令和7年3月完了) ○栗熊小学校長寿命化改修に係る健全度調査・基本設計の実施(令和6年8月着手・令和6年11月完了) ○綾歌中学校校舎長寿命化改修に係る健全度調査・基本設計の実施(令和6年6月着手・令和7年1月完了) ○綾歌中学校屋内運動場改築工事の実施(令和5年12月工事着手・令和7年6月完了) ○垂水小学校プール改築工事の実施(令和6年6月工事着手・令和7年6月完了) ○広島小中学校改修工事の実施(令和6年6月工事着手・令和7年3月</p>			<p>○飯山南小学校改築に係る基本計画・基本設計の完了(令和6年6月着手・令和7年3月完了) ○栗熊小学校長寿命化改修に係る健全度調査の完了(令和6年8月着手・令和6年11月完了) ○綾歌中学校校舎長寿命化改修に係る健全度調査の完了(令和6年6月着手・令和7年1月完了) ○綾歌中学校屋内運動場改築工事の実施(令和5年12月工事着手・令和7年6月完了) ○垂水小学校プール改築工事の実施(令和6年6月工事着手・令和7年6月完了) ○広島小中学校改修工事の完了(令和6年6月工事着手・令和7年3月完了)</p>
--	--	---------------------------	--	--	--	---

			完了)			
総務課	★待機児童の解消 【重点プロジェクト】	●幼稚園・保育所・こども園の統廃合に伴う整備	○(仮称)城東こども園新築工事の実施(令和6年9月工事着手・令和8年2月完了)	No. 6 (II-13)	C	○(仮称)城東こども園新築工事の実施(令和6年9月工事着手・令和8年2月完了)
総務課	★放課後児童対策の充実 【重点プロジェクト】	●快適で安全・安心な教室の確保	○城東青い鳥教室新築工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○城東青い鳥教室増築工事に係る設計を実施(令和6年6月着手・令和7年2月完了)	No. 8 (一)	C	○城東青い鳥教室新築工事の実施(令和6年3月工事着手・令和8年1月完了) ○城東青い鳥教室増築工事に係る設計の完了(令和6年6月着手・令和7年2月完了)
学校給食センター	★学校給食による食育の推進 【重点プロジェクト】	●地産交流会の実施 ●有機給食の推進	○実施回数12回 ○実施回数2回	No. 5 (I-4) (I-5)	C	○地産交流会の実施 12回 ○有機給食の実施 2回
学校給食センター	★第二学校給食センターの整備計画及び整備・運営の詳細検討	●第二学校給食センターの施設整備及び運営業務の詳細内容の検討	○施設整備及び運営業務に関する要求水準書の作成と業者選定に着手	— (一)	C	○実施方針や要求水準書(案)を作成し、令和7年1月に公表し、業者選定に着手した。
学校教育課 (まなび文化課) (産業観光課) (文化財保存活用課) (教委総務課)	★人づくり石垣プロジェクトの推進 【重点プロジェクト】	●学力づくり	○英語教育の充実 ○授業改善(教員の授業力の強化)	No. 1, 3 (I-1) (I-2) (I-5) (II-8) (II-9)	C	○ALTを5名から10名に増員 ○2中学校をモデル校としてオンライン英会話の実施 ○英検補助制度を創設・実施 ○授業をする際のポイントをまとめたリーフレットを作成、各学

		<p>●不登校対策</p> <p>●ふるさとへの愛情や誇りの醸成</p>	<p>○学習指導員の配置</p> <p>○学校図書館の充実</p> <p>○ICTの活用推進</p> <p>○SSWの増員</p> <p>○多様な学びの機会の保障</p> <p>○教育支援センター「友遊」での支援の充実</p> <p>○関係機関と連携した重層的支援</p> <p>○ふるさと授業の実施</p> <p>○文化財めぐり</p>	<p>(Ⅱ-10)</p> <p>(Ⅱ-11)</p>	<p>校に配布し、学校訪問等で指導した。授業づくりサポーター9名の授業を公開し、118名の教員が参観した。</p> <p>○14名の学習指導員が5中学校で補充学習の補助をした。</p> <p>○5中学校、3小学校でWi-Fi環境を整備した。</p> <p>○学習支援アプリを全小中学校に導入した。</p> <p>○SSWを増員し、陸地部各中学校に1名ずつ配置した。</p> <p>○陸地部各中学校に校内サポートルームを設置し、学習支援員を1名ずつ配置した。</p> <p>○在籍児童生徒の個々の状況に合わせた学びの保障を行うとともに、児童生徒、保護者、在籍校に対する相談活動を行った。</p> <p>○月1回の庁内連携会議に参加。関係各課と連携方法について協議した。</p> <p>○(株)トリドールホールディングスCEOによる講演会を実施(各中学校2年生が参加)</p> <p>○全小学校6年生が本島文化財</p>
--	--	--------------------------------------	---	-----------------------------	--

		<p>●地域との連携</p> <p>●教職員の働き方改革</p>	<p>○ふるさと芸術体験 (まなび文化課)</p> <p>○ふるさと企業PR (産業観光課)</p> <p>○学校運営協議会の充実</p> <p>○地域学校協働活動の充実</p> <p>○部活動の地域移行</p> <p>○小学校への教員業務支援員の配置</p> <p>○小学校の教科担任制の推進</p> <p>○テスト採点ソフトの導入</p> <p>○総務事務システムの導入</p>		<p>を訪問。全中学校 1 年生が丸亀城、中津万象園を訪問。</p> <p>○全小中学校で、年 2 回の学校運営協議会を実施。地域と一体となって特色ある学校づくりを進めた。</p> <p>○全中学校群で、小中・地域連携協議会を年 2 回開催した。</p> <p>○拠点校部活動や合同部活動、外部指導員の活用など、それぞれの実態に応じて推進した。</p> <p>○陸地部の全小学校に教員業務支援員を配置した。</p> <p>○陸地部の小学校 15 校中 11 校に市費講師を配置し、教科担任制を推進した。</p> <p>○テスト採点ソフトを陸地部の全中学校に導入した。</p> <p>○8 月下旬から順次、各教職員の端末にインストール。11 月から運用を開始した。</p>
--	--	----------------------------------	---	--	---

			<ul style="list-style-type: none"> ○始業式の1日繰り延べ ○部活動の地域移行(再掲) 			<ul style="list-style-type: none"> ○学年始め休業日と冬季休業日を1日延長した。
学校教育課	<p>★学校教育サポート体制の充実 (いじめ・不登校対策) 【重点プロジェクト】 (インターネットによる人権侵害対策)</p>	<p>●不登校の未然防止や早期対応、社会的自立に向け、関係機関と連携強化</p> <p>●いじめの防止や早期解決に向け、各学校や関係機関との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「不登校対応の手引き」の積極的な活用による対応の徹底(校長会で周知3回) ○関係機関との連携による重層的支援 ○市や各学校の「いじめ等防止基本方針」に基づく対応の徹底(校長会で周知3回) ○情報モラル教育の推進(児童生徒、保護者) 	No. 63 (I-2)	C	<ul style="list-style-type: none"> ○「不登校対応の手引き」の趣旨を校長会で説明したうえで、積極的な活用を呼びかけた。(校長会で周知3回) ○学校だけで解決が困難な事案に対して、関係機関と連携し、適切な対応に努めた。 ○「いじめ等防止基本方針」に基づき、未然防止や早期発見、早期対応に努めるよう、校長会で呼びかけた。(校長会で周知3回) ○文科省の資料を使ったり、警察や通信会社によるSNS等の安全な使い方教室等を利用するなどして、児童生徒への指導および保護者への啓発を行った。
学校教育課	<p>GIGA スクール構想の推進 【重点プロジェクト】</p>	●通信環境の整備と授業での積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> ○通信環境の検証・分析(ネットワークアセスメント実施・検証) ○児童数300人規模の小学校のローカルブレイクアウト方式の実施 	No. 2 (II-9) (II-10)	C	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校でネットワークアセスメントを実施し、通信環境を検証した。 ○3小学校でローカルブレイクアウト方式を実施した。

		<p>●ICTを活用した教員の授業力の向上</p>	<p>○大規模校、中規模校の高性能ルーターの設置</p> <p>○ロイロノートを活用した授業等の充実</p> <p>○1人1台端末のリプレイス準備 (R7~R9)</p> <p>○ICTの効果的な活用法について各種研修会の実施</p>			<p>○3小学校に高性能ルーターを設置した。</p> <p>○教育研究所の研修会にロイロの指導者を招き、研修した。</p> <p>○県の共同調達に係る会議に年間18回出席した。</p> <p>○教育研究所「ICT活用部会」では、指導案検討会を経て小中学校でそれぞれ実践授業が行われた。</p>
学校教育課 (生涯学習課)	<p>★コミュニティ・スクールの推進</p> <p>【重点プロジェクト】</p>	<p>●C・Sを活用した小中・地域連携教育の推進</p>	<p>○各学校での学校運営協議会の実施(年2回以上)</p> <p>○学校と地域の連携活動(行事)の開催(学期に2回以上)</p>	No.1 (I-1) (II-8)	C	<p>○全ての小・中学校において、5月と2月に学校運営協議会を開催し、学校の強みと課題を報告し、教育活動について協議した。</p> <p>○各小学校の実態に合わせて、野菜作りや花壇の世話、ミシンボランティア等の活動を行った。</p>
学校教育課	<p>★特別支援教育の充実</p>	<p>●安全・安心な学びの場の確保</p>	<p>○医療的ケアの実施</p> <p>○丸亀市医療的ケア運営協議会の開催</p>	19-③-2 19-⑨-1 (I-1)	C	<p>○3小学校で3人の医療的ケア児を受け入れた。</p> <p>○受け入れに関する方針、ガイドラインの改定等、実施に関する全般的な内容について年間2回協議した。</p>
学校教育課	<p>★教職員の働き方改革の推進</p> <p>【重点プロジェクト】</p>	<p>●学校の業務の適正化や効率化(業務改善の推進)</p>	<p>○小学校への教員業務支援員の配置(再掲)</p> <p>○小学校の教科担任制の推進(再掲)</p>	No.3 (II-11)	C	<p>○陸地部の全小学校に教員業務支援員を配置した。</p> <p>○陸地部の小学校15校中11校に市費講師を配置し、教科担任制</p>

			<p>○テスト採点ソフトの導入（再掲）</p> <p>○総務事務システムの導入（再掲）</p> <p>○教職員の時間外勤務時間の削減率（R2年度より25%）の達成</p>			<p>を推進した。</p> <p>○テスト採点ソフトを陸地部の全中学校に導入した。</p> <p>○8月下旬から順次、各教職員の端末にインストール。11月から運用を開始した。</p> <p>○教職員の時間外勤務時間の削減率はR2年度と比較して23%だった。</p>
学校教育課	<p>★小児生活習慣病対策の推進</p> <p>【重点プロジェクト】</p>	<p>●関係各課と連携し、よりよい生活習慣について親子で考えるきっかけづくりの推進</p>	<p>○事前指導・事後指導の徹底</p> <p>○事後指導用教材の使用と充実</p> <p>○2次検診の受診率の向上(小中学校とも70%以上)</p>	No. 42 (I-4)	C	<p>○養護教諭の研修会において、事前指導・事後指導の重要性を周知し指導の徹底を図った。</p> <p>○2次検診の受診率の向上を目指し、昨年度作成した事後指導用教材をすべての小学校で作成し、指導した。</p>
学校教育課 少年育成センター	<p>★少年非行の未然防止及び安全指導</p> <p>★不審者情報に対する適切な対応</p> <p>★少年の健全育成推進と、それに伴う保護者啓発</p> <p>★相談活動の充実</p>	<p>●少年が集まりやすい場所を意識した補導活動（補導箇所の見直し）</p> <p>●こどもSOSプレートの定期点検と、設置の呼びかけ</p> <p>●健全育成をめぐる喫緊の課題の解決に向けた保護者啓発</p> <p>●相談スキルの向上のため</p>	<p>○少年を取り巻く課題と、その対応についての日常的な情報収集（パトロール実施時「愛の一声」2,500人/年）</p>	1-⑥-4	C	<p>○不審者情報や学校・地域からの情報をもとに、重点巡回個所を適宜設定し、補導活動を実施した。（「愛の一声」3,357人/年）</p> <p>○R5, R6年度で、市内の子どもSOSプレートの総点検を実施した。今後も、新規設置者の募集を行う。</p> <p>○育成だよりや、学校公用車への</p>

		の情報収集				表示などを通して、健全育成についての啓発活動を継続実施する。
幼保運営課	★待機児童の解消 【重点プロジェクト】	●保育士の確保に向けた新規雇用と離職防止	○公立園における保育業務の改善 ○私立園に対する市単独補助金による保育士の処遇改善 ○保育体制強化事業の活用による私立園の保育士業務の負担軽減 ○修学資金等貸付制度の利用促進 ○保育補助者雇上強化事業の実施 ○国の配置基準の見直しへの対応 ○待機児童となった子どもの一時的な受入れ	No. 6、7 (Ⅱ-11) (Ⅱ-13)	C C C C C D	○公立子ども園全園で用務員を雇用し、保育現場の負担軽減を図った。 ○私立園の保育士の賃金上乘せ補助(一人あたり 3,000 円/月)を継続して行った。 ○私立園における保育支援者の配置に加え、スポット支援員の配置に対しても補助することで保育士の業務負担の軽減に取り組んだ。 ○修学資金貸付は2年連続で増加し、25 件の利用があった。(うち新規 15 件) ○潜在保育士確保に向けた保育補助者雇上強化事業は、事業実施が年度途中となり、1 件の利用であった。 ○可能な園から国の配置基準に沿った職員配置を進めている。 ○飯山区域での新設1か所の実施に至っていない。
幼保運営課	★教育・保育施設の老朽化等の環境整備計画	●『第2期丸亀市子ども未来計画』に基づき、園児の	○土居保育所と城北こども園の統合、青ノ山保	— (Ⅱ-13)	C	○土居保育所は令和6年度末をもって閉所し、城北こども園に統

		<p>減少や施設の老朽化等による各教育・保育施設の移転改築や統廃合等に関する施設の環境整備方針を定める</p> <p>●『第3期丸亀市こども未来計画』策定に向け、老朽化している施設整備計画を検討する</p>	<p>育所と城東幼稚園を統合したこども園の開設、栗熊保育所の民営化</p> <p>○耐用年数に合わせた施設の統廃合等の検討</p>		C	<p>合した。青ノ山保育所と城東幼稚園を統合予定のこども園は園舎整備工事に着手した。民営化が決定している栗熊保育所においても土地造成工事が完了し、運営法人において園舎整備工事を開始した。</p> <p>○『第3期丸亀市こども未来計画』策定の中で、人口推計やアンケート調査の結果をもとに、保育需要量を推計した。</p>
幼保運営課	★幼稚園・保育所・認定こども園の職員の交流及び職員の資質向上の推進	●『幼・保・こ』職員の合同研修、公開保育等の相互研修の開催	○幼稚園・保育所・認定こども園における職員の資質向上と就学前教育・保育の充実	1-①-2 (II-13)	C	○幼児教育ブロック会の研修や施設訪問の機会を活用した公開保育、教育研究所や教頭等会でのスキルアップ研修など、それぞれのテーマや課題に応じた研修の機会を確保し、研鑽に努めた。
幼保運営課 (学校教育課)	★幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けての幼小連携の充実	●校区の実情に応じた幼児教育施設と小学校の相互理解研修や交流活動の充実	○校区における『幼保小の架け橋プログラム』の実施。連携・接続の実践と内容検証。	1-③-1 (II-8) (II-13)	C	○丸亀市幼児教育・小学校教育連絡研究協議会において、幼小連携の研究発表を行った。また、『幼保小の架け橋プログラム』の推進に向け、校区内の就学前施設間の交流・情報交換を行うとともに、全国の研究指定校の取組等についても学校教育課

						と情報共有した。
幼保運営課 (子育て支援課、 福祉課、健康課、 学校教育課)	★発達障がい児等支援 の充実 【重点プロジェクト】	●NPO等との協働の もと、発達障害児等の成長を 乳幼児期から青年期まで支 えるとともに、その保護者 や保育者・教員を支援	○巡回カウンセリング、 保護者相談活動、教職員 等の相談活動、研修機会 の提供	No. 10 (I-4) (II-13)	C	○NPOとの協働のもと、教育・保 育施設等への巡回カウンセリ ングを実施し、発達障害児及びそ の保護者や保育士等の支援を 行った。
文化財保存活用 課	丸亀城全体の石垣保全	●崩落個所以外の石垣のレ ーザー測量の実施とデジタ ル資料による記録・保存 ●城内の雨水排水対策	○石垣の測量業務委託 を発注(令和9年度まで の継続事業) ○必要箇所の発掘調査 による遺構確認 ○雨水排水整備工事の 実施(令和12年度まで の継続事業)	21-①-1 (IV-18)	C	○史跡丸亀城跡本丸北西部石垣 測量業務委託を5月に発注、2月 に完了した。 ○遺構確認については、排水路整 備工事の掘削作業と並行して行 った。 ○史跡丸亀城跡排水路整備工事 を6月に発注、10月に完成し三 の丸の東、南側の雨水排水路整備 を行った。 また、史跡丸亀城跡石垣保全に伴 う三の丸舗装工事を12月に発 注、3月に完成した。
文化財保存活用 課	丸亀城の石垣整備 【重点プロジェクト】	●石垣の積上げ工事の実施	○必要な新石材の発注 ○帯曲輪石垣復旧工事 に着手(8月)	No. 52 (IV-18)	C	○丸亀城石垣復旧に伴う石材製 作等(その2)工事を6月に 発注。 ○丸亀城帯曲輪石垣復旧等工事 を7月に発注し、8月に積上げ工 に着手した。
文化財保存活用	丸亀城内濠の水質改善	●迂回水路の整備	○迂回水路整備工事の	—	C	○亀山公園内濠流入水迂回水路

課		●内濠の水質浄化	実施（4月～9月末予定） ○堆積ヘドロの調査 ○地下水調査業務の実施	(IV-18)		設置工事を4月に発注、11月に完成し、流入水への対策を行った。 ○亀山公園内濠底泥調査測量業務委託を7月に発注、10月に完了し、お濠内の堆積ヘドロ量の把握を行った。 ○亀山公園内濠地下水導水調査等業務委託および亀山公園内濠地下水導水ボーリング調査等業務委託を7月、12月にそれぞれ発注し、現在、水質調査などを実施し、地下水の導水可能性を検討している。
文化財保存活用課	快天山古墳の調査・整備	●石棺保存のための調査及び保存に向けた資料整備	○既存の近世墓周辺の石棺の保存状況と石槨の確認	21-①-2 (IV-18)	C	○1号石棺および3号石棺の保存状況と埋葬施設の構造を確認し、3棺同時埋葬を確認した。
文化財保存活用課 (産業観光課)	文化財を活用した観光振興、地域活性化の推進 【重点プロジェクト】	●「ニッカリ青江」の公開展示 ●天守、大手一の門、延寿閣別館の指定管理と城泊事業の実施	○観光部局や民間団体と連携し「ニッカリ青江」を軸とした刀剣展の実施（10月12日～11月17日） ○指定管理により3施設の公開と連携したイベントの実施（年3回程度）	No. 39 No. 53 (IV-18)	C	○企画展の観覧者数 13,700 人。 ○観光部局や民間団体と連携した様々な関連イベントを催した。 ○延寿閣別館（城泊宿泊施設）一般公開：6月（3日間）、9月（2日間）、延べ1,728人。 大手一の門 ナイトレストラン：

			○城泊事業の開始(7月)			<p>10～11月(9日間)、375人の参加。</p> <p>天守:ニッカリ青江公開展と連携し、「ニッカリ青江マンホール蓋」の展示など。</p> <p>○5/21にオープニングセレモニーを開催。7月より宿泊事業を開始。</p>
--	--	--	--------------	--	--	---